

# グローバル人材育成と 海外子女教育

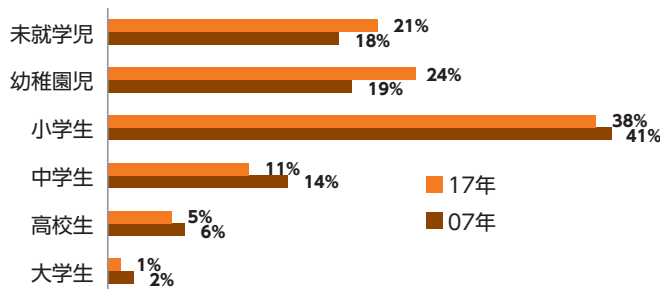
**グ**ローバル人材の育成は、企業にとって喫緊の課題。海外で幼い頃から異文化に接している子どもたちは、将来のグローバル人材候補と言える。

日本在外企業協会（日外協）では、会員企業を対象に1999年から隔年で「海外・帰国子女教育に関するアンケート」調査を実施。昨年11月に行った調査では、151社から回答が寄せられた。

**家**族を帯同して海外に赴任する駐在員にとって、子どもの教育はきわめて切実な問題である。調査結果からは、駐在員本人にとっても、送り出す企業の側にとっても、赴任先の子どもの教育環境について多くが不安と悩みを抱えていることがうかがえる。日外協としても引き続き関係団体・政府と連携しながら、より良い海外子女教育の実現に向けて、尽力していきたい。

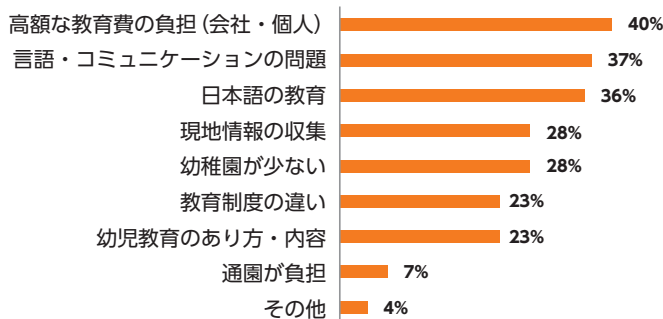
## 海外子女の就学別内訳

未就学児・幼稚園児が増加傾向



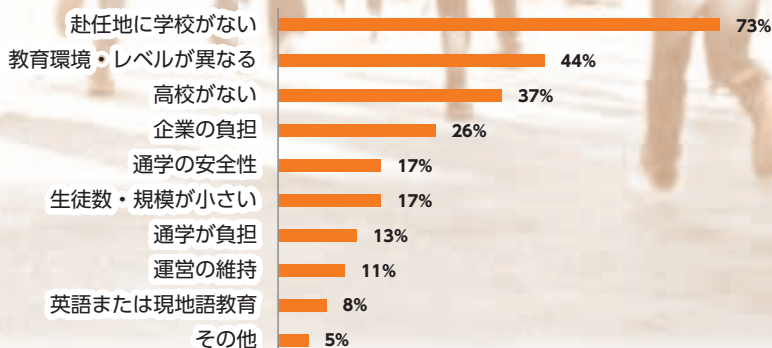
## 就学前教育の問題

高額な教育費、言語・コミュニケーションが心配



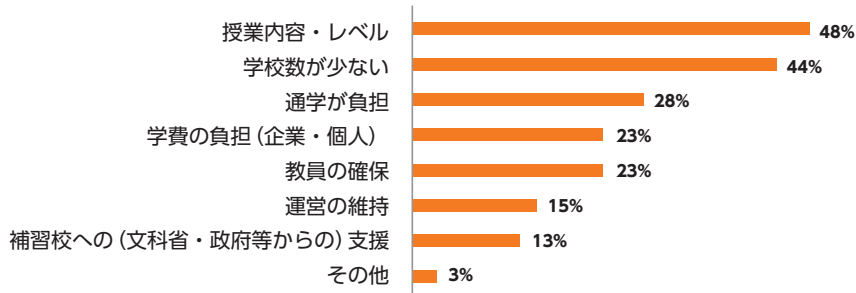
## 日本人学校の問題

7割が赴任地に学校がないと回答



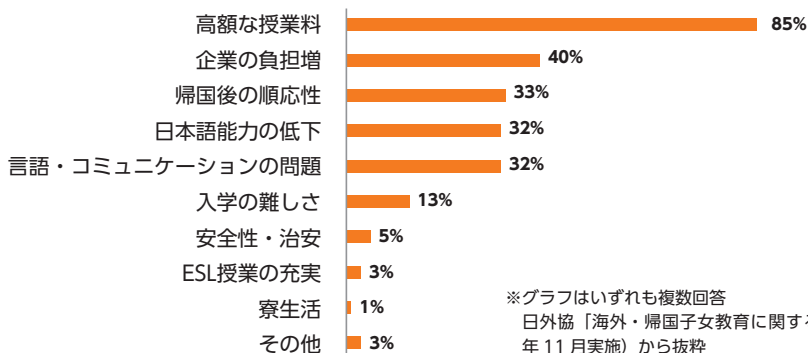
## 補習授業校の問題

半数近くが授業内容・レベルに不安



## インターナショナルスクールの問題

8割以上が授業料の高さを指摘



※グラフはいずれも複数回答  
日外協「海外・帰国子女教育に関するアンケート」調査(2017年11月実施)から抜粋  
詳細は日外協WEBサイト参照 <https://www.joea.or.jp/>